

「お客さま本位の業務運営」の取組状況

2025年6月



北日本銀行

1.お客さまのニーズに沿った利益の追求 【金融庁原則2・原則2(注)、原則5、原則7(注)】

当行はお客さまの接点を通じて、お客さまのニーズを正確に把握したうえで、高い専門性と職業倫理をもって、お客さまのニーズに沿った最善の利益の実現を図ってまいります。

また、当行は、このような業務運営に取り組む姿勢が企業文化として定着するよう、努めてまいります。

- お客さまとの長期にわたる信頼関係構築に向けて、多様なお客さま向けセミナーを定期的を開催しております。
- お客さまの未来の希望や夢を実現するため、どれくらいの資金を準備したいのか、「Wealth Advisors」などのツールを利用しゴールベースアプローチのご提案を行っております。

セミナーの開催状況

内容	2022年度		2023年度		2024年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
投資環境セミナー	1回	185人	1回	79人	1回	82人
職域セミナー	48回	588人	132回	1,446人	128回	1,050人

<職域セミナーラインナップ>

- ①資産形成セミナー
- ②iDeCo説明会
- ③生命保険加入のポイントセミナー

Wealth Advisors



<Wealth Advisors> では取扱ファンドについての情報提供、お客さまのご希望や将来に必要な資金に沿った資産運用の提案やリバランス提案などを行っております



STEP1 (任意) 資産運用シミュレーション
運用期間、最初に投資できる金額、毎月の積立金額を入力して「資産配分の確認」ボタンを押してください。

STEP2 資産配分の確認
STEP3 ファンドを選ぶ
STEP4 ポートフォリオの完成

運用期間: 1年 30年 20年
最初に投資できる金額 (投資元金): 0円 3600万円 300万円
毎月の積立金額: 4.7万円 13.8万円 8万円
目標金額を達成させるためには 年4% で運用する必要があります。

当行は、お客さまとの接点を通じて、お客さまが考える利益を正確に把握したうえで、お客さまの資産状況、投資等の取引経験、金融知識や取引の目的等をふまえ、お客さまのニーズに沿った金融商品・サービスの販売・推奨等を行ってまいります。また、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等を行う場合、そのパッケージがお客さまのニーズに沿ったものであることを確認してまいります。さらに、複雑またはリスクの高い金融商品・サービスの販売・推奨等を行う場合や、高齢のお客さま、投資等の取引経験が少ないお客さまに金融商品・サービスの販売・推奨等を行う場合は、特に慎重に対応してまいります。

- ゴールベースアプローチに基づいた長期・分散投資の実践に向け、定期的に販売商品の見直しを行っております。

投資信託ラインナップ

種類	2023年3月末		2024年3月末		2025年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
国内債券型	2	4.4%	2	4.2%	2	4.2%
海外債券型	7	15.5%	8	16.7%	8	16.7%
国内株式型	7	15.5%	7	14.6%	7	14.6%
海外株式型	13	28.8%	14	29.1%	14	29.1%
国内REIT型	1	2.2%	2	4.2%	2	4.2%
海外REIT型	5	11.1%	5	10.4%	5	10.4%
バランス型	9	20.0%	9	18.7%	9	18.7%
その他	1	2.2%	1	2.1%	1	2.1%
合計	45	100.0%	48	100.0%	48	100.0%
うち 毎月分配型	14	31.1%	14	29.1%	14	29.1%
うち NISA成長投資枠対象	旧 NISA制度 (新 NISA以前)		28	58.3%	28	58.3%
うち NISAつみたて投資枠対象			4	8.3%	4	8.3%

北日本銀行

文字サイズ 標準 大 特大

[▶投資信託トップへ](#)

ファンドランキング

基準日：2025年05月22日現在
評価日：2025年04月30日現在

つみたて投資枠、成長投資枠は新NISAの対象ファンドとなります。

4月売却額
ランキング
(月間販売金額)

トータルリターン
ランキング
(1年)

純資産残高
ランキング

純資産増加
ランキング

ファンド
レーティング
(1～5段階)

基本情報

リターン・費用等

お気に入り登録

チェックした投資信託を(※5つまで選択可)

比較する

順位	カテゴリ	お気に入り	ファンド名	運用会社	基準価額 (円)	前日比 (円) 騰落率 (%)	純資産総額 (百万円)	分配金 (円) 決算日	決算 回数	ファンド レーテ ィング ?	比較
1	国内株式 型	★	日経225ノードオープン [売却] [成長投資枠]	アセットマネジ メントOne	27,623	-231円 -0.83%	335,396	24/08/13	0	年1回	★★★
2	国内株式 型	★	eMAXIS 先進国株式インデ ックス(除く日本) [売却] [成長投資枠]	三菱UFJアセッ トマネジメント	69,111	-1,296円 -1.84%	106,528	25/01/27	0	年1回	★★★
3	国内株式 型	★	日経5大業種株式ファンド [売却] [成長投資枠]	日興アセットマ ネジメント	12,525	-188円 -1.48%	29,806	25/05/16	300	年4回	★★★
4	国内株式 型	★	野村先進国株式インデックス [売却] [成長投資枠]	野村アセットマ ネジメント	27,998	-509円 -1.79%	70,765	24/11/14	1,100	年1回	★★★
5	国内株式 型	★	グローバルヘルスケア&バ イオファンド「薬物」部 [売却] [成長投資枠]	三菱UFJアセッ トマネジメント	8,065	-185円 -2.24%	214,940	25/02/27	0	年2回	★★

ファンドランキング（販売金額、トータルリターン、純資産残高、純資産増加他）を当行ホームページ（https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/kitagin.asp/ranking_pc?rank=0）に掲載しておりますので、ご参照ください。

2.お客さまのニーズに沿った金融商品・サービスの提供

- お客さまのニーズに沿ったご提案を行うため、保険相談拠点を中心に豊富な保険商品を準備しております。

保険ラインナップ

種類		2023年3月末		2024年3月末		2025年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
一時払型保険	円建て	3	3.5%	3	3.6%	3	3.4%
	資産形成（年金・終身）	3	3.5%	3	3.6%	3	3.4%
	外貨建て	9	10.5%	9	10.7%	10	11.2%
	資産形成（年金・終身）	9	10.5%	9	10.7%	10	11.2%
	小計	12	14.0%	12	14.3%	13	14.6%
平準払型保険	円建て	70	81.4%	67	79.8%	70	78.6%
	医療保障	33	38.4%	31	36.9%	31	34.8%
	資産形成（年金・終身・学資）	12	13.9%	13	15.5%	14	15.7%
	死亡保障	13	15.1%	14	16.7%	13	14.6%
	法人向け保険	5	5.8%	5	5.9%	5	5.6%
	介護保障	4	4.7%	2	2.4%	5	5.6%
	認知症保険	2	2.3%	2	2.4%	2	2.3%
	ペット保険	1	1.2%	0	—	0	—
	外貨建て	4	4.6%	5	5.9%	6	6.8%
	資産形成（年金・終身）	4	4.6%	5	5.9%	6	6.8%
	小計	74	86.0%	72	85.7%	72	85.4%
合計		86	100.0%	84	100.0%	89	100.0%



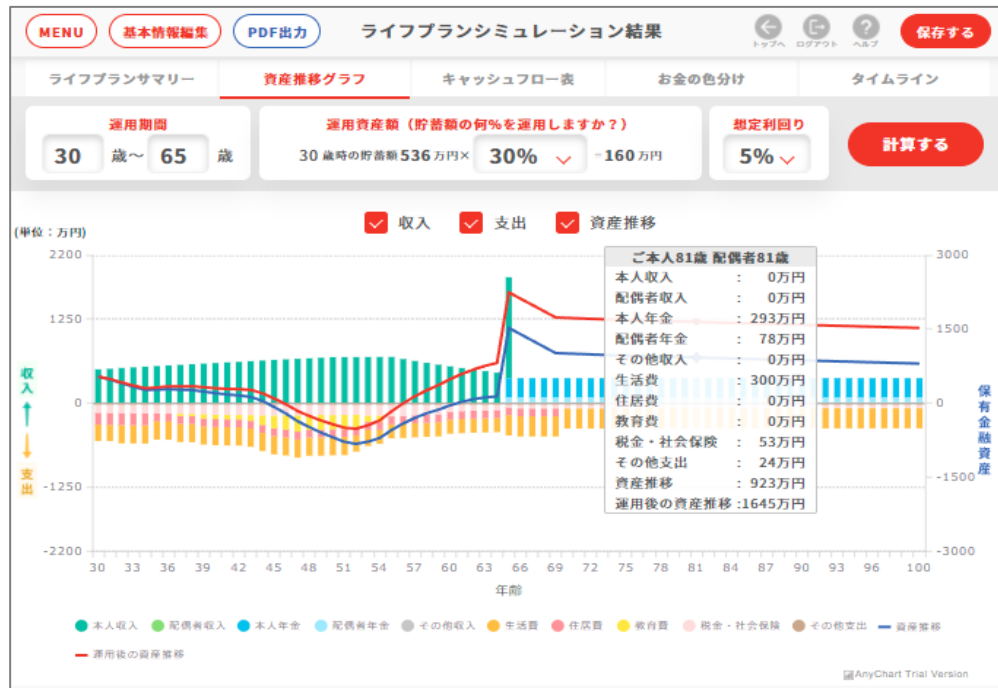
営業店では一時払型保険を中心に豊富なラインナップの中から、お客様のニーズに沿った商品をご提案しております。
また、保険に関するご相談をお受けする専門店舗を岩手県内（盛岡市）に2か所設置しております。

※事業年度末時点で新規申込可能な商品を集計しております

2.お客さまのニーズに沿った金融商品・サービスの提供

- お客さまの人生設計において今後必要なお金を把握できるツール(ライフプランシミュレーション)を活用し、お客さまのニーズに寄り添った金融商品を提案しております。

ライフプランシミュレーション



現在～100歳までの将来の支出や資産残高推移を一目で確認できるようチャート・グラフや表形式で表示します



将来の運用総額と初期投資額、積立投資額、利回りに応じた運用益が表示されます



- ## 高齢のお客様への販売ルール（一部抜粋）

- ご投資経験の少ないお客さまへの丁寧な対応**

- ## お客さまの「ご意向」の適切な把握

- 5

3.お客さまのニーズに対する情報提供の充実【金融庁原則2・原則2(注)、原則4、原則5・原則5(注)、原則6(注)】

当行は、金融商品・サービスの提供にあたっては、お客さまのニーズに沿った金融商品・サービスを選択していただけるよう、重要な情報を誠実に、分かりやすく提供してまいります。

重要な情報には、金融商品・サービスの概要、リスクとリターン、取引条件、金融商品・サービスの選定理由、お客さまとの利益相反の可能性がある場合にはその内容等を含むものとし、複数の金融商品・サービスをパッケージとしてお客さまへ提供する場合には、個別に提供することの可否等も含むものいたします。また、お客さまにご負担いただく手数料その他の費用の内容についても、お客さまが正しく理解できるよう資料等を活用し、分かりやすく丁寧に説明してまいります。

- 「契約締結前交付書面」「交付目論見書」や「重要情報シート」等を用いて重要な情報を分かり易く説明するとともに、「商品ラインナップ」比較検討を行える態勢を整備しております。

重要情報シート

商品ラインナップ

※当行では、金融商品の組成には携わっておりません。

一定の投資性金融商品の販売・販売紹介に係る

重要情報シート（金融事業者編）

当行の基本情報（当行にお客さまに金融商品の販売または販売紹介をする者です）

社名	株式会社 北日本銀行	
登録番号	東北財務局（登録）第 14 号	
加入協会	日本証券業協会	
当行の概要を記したウェブサイト	https://www.kinsei.co.jp	

2. 取扱商品（当行にお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

円預金	×	外貨預金	○
国内株式	×	外国株式	○
円建て債券	○※1	外貨建て債券	○※2
信託（信託（仕組債等））	×	投資信託	○
ラップ債	×	金貨信託	○※3
ETF、ETN、REIT	×	その他の商品（商品名）	×
信託（預託）サービス	○	信託（商品名）サービス	○

これら以外の商品等

※1 NISA、iDeCo（個人型確定拠出年金）等も、実施しております。金融商品仲介業務として当行ホームページ又はスマートフォンアプリから SBI 証券の口座開設を申し込みしております。（※実施状況は変わっております。）

※2 SMC（日興証券株式会社）の一部商品を金融商品仲介して提供しております。

※3 みずほ証券株式の一部商品（契約締結の場）を行ってっております。

3. 商品ラインナップの考方（商品ラインナップのコンセプトや特徴点は次のとおりです）

○ お客さまの安定的な資産形成や運用の効率化に資するため、お客さまのライフステージに比して想定される様々なニーズに応えるため、幅広い商品・サービスの充実を図っております。

○ 投資信託や債券などの商品選定にあたっては、顧客それぞれの商品について、商品の分かりやすさ、リスクや運用実績、お客さまに負っていただく費用等を比較検討し、お客さまによりおすすめした商品をお客さまに推薦することにより努めています。

○ お客さまの年齢、ご職業、保有の他の商品、ライフプランの観点から、ご意向やご生活に合った商品をお客さまにご紹介することにより努めています。

4. 営業・相談窓口

当行にお客さまご相談窓口	お客様サービス室 電話番号 0120-555-270 ※1
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室 電話番号 0570-01710 ※1 ※2 証券・金融商品あやせむ相談センター 電話番号 0120-644-5005 ※1
上記以外の相談窓口	生命保険協会 生命保険相談センター 電話番号 02-3296-2646 ※1 ※2
金融庁金融サービス利用相談室	0570-018811または0120-5251-6811 ※2

※1 平日 9:00～17:00（土・日・祝日等を除く）
 ※2 平日 10:00～17:00

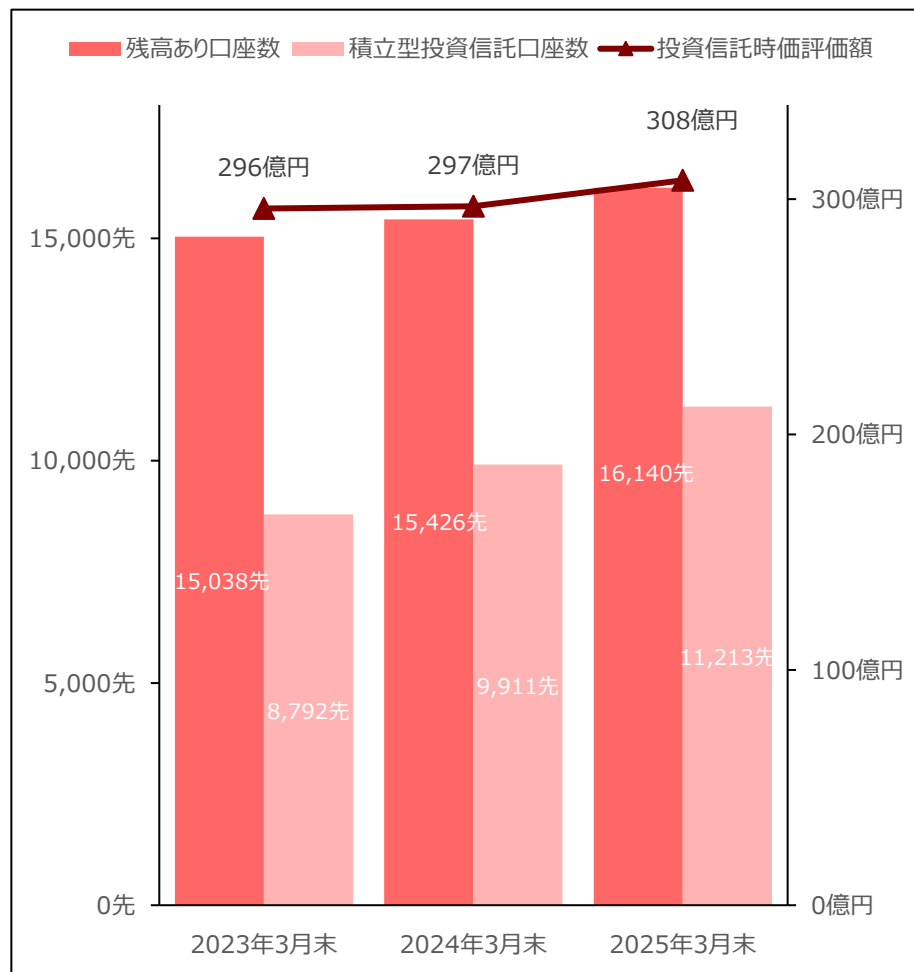
北日本銀行

[illegible][illegible]

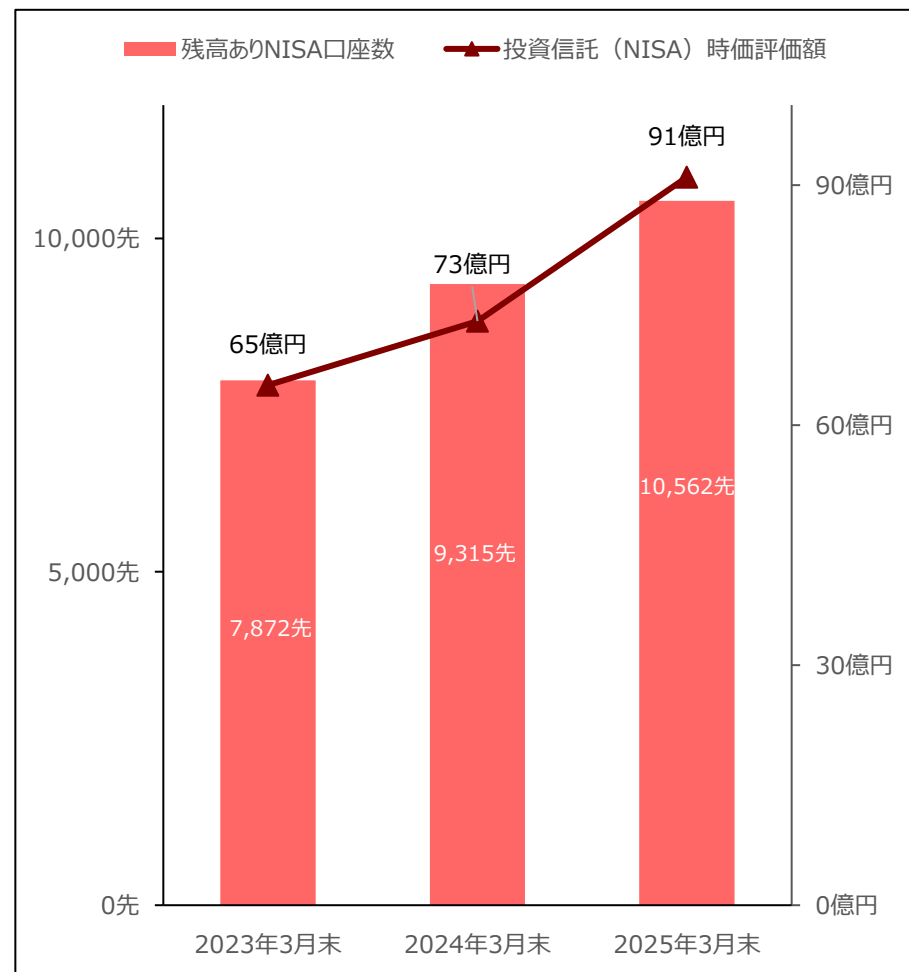
3.お客さまのニーズに対する情報提供の充実

- お客さまの資産形成に向け、長期分散投資や積立投信の案内を行っており、積立型と投資信託口座数は増加傾向にあります。
- NISA口座数、残高とも増加しております。

投資信託の残高等推移



NISAの残高等推移



3.お客さまのニーズに対する情報提供の充実

- お客さまへのわかりやすい情報提供を目的として、定期的に「投資環境セミナー」を開催しております。
- 当行にファンドを保有するお客さまに加え、これから資産運用を検討されているお客さまにも幅広くご案内し情報提供に努めております。

投資環境セミナー



KITAGIN NEWS RELEASE 2025	
各位	2025年1月20日 株式会社 北日本銀行
「きたぎん投資環境セミナー」開催のお知らせ	
株式会社北日本銀行（通称：北銀）では、「きたぎん」開催いたしますので、お知らせいたします。	
記	
開催日時・会場	【北上会場】 開催日時：2025年2月19日（水）14:00～15:30 会場：北上市文化交遊センター さくらホール （北上市さくら通りより徒歩1分） 【盛岡会場】 開催日時：2025年2月20日（木）14:00～15:30 会場：盛岡マリオス 18階 188会議室 （盛岡市盛岡駅西口より徒歩5分）
内容	【第1部】 2025年はどうなる？日米 【第2部】 今後の展望から見るUSリート ー「ダイワ・US-REIT・オープン」
講師	大和アセットマネジメント チーフ・プレゼンター コーヘン&スティアーズ・ジャパン アソシエイトディレクター
定員	北上会場：30名様 / 盛岡会場：70名様
参加費	無料（先着申込）
申込方法	お近くの支店またはWeb申込 詳しくは前掲のご案内チラシをご覧ください
申込締切	2025年2月14日（金） ※お申し込みは先着順で受付し、定員に達した時点で締切となります。

北日本銀行

〒020-8686
TEL: 019-653-XXXX

きたぎん

投資環境セミナー

参加費 無料
事前申込制

北上

2025年2月19日（水）14:00～15:30（開場13:30）

北上市文化交遊センター
さくらホール feat.ツガワ 2階会議室（定員30名）

盛岡

2025年2月20日（木）14:00～15:30（開場13:30）

盛岡マリオス 18階 188会議室（定員70名）

第1部

2025年はどうなる？
日米を中心としたこれからの世界経済

第2部

今後の展望から見るUSリーートの魅力
ー「ダイワ・US-REIT・オープン」の運用状況ー

講師

大和アセットマネジメント チーフ・プレゼンター 和田由希子氏
コーヘン&スティアーズ・ジャパン アソシエイトディレクター 箱崎 延成氏

お申し込み方法

下記いずれかの方法にて、2月14日（金）までにお申し込みください。

店頭

裏面の「参加申込書」にご記入の上、お取引店へご提出ください。

ホームページ

当行ホームページ内セミナー専用ページまたは左記QRコードよりお申し込みください。

スマホから

QRコード

きたぎん投資環境セミナー

（セミナーの受付について）

*先着順で受付いたします。定員に達し次第、お申込みを締め切らせていただきます。*参加費等は発行いたしません。

北日本銀行

4.お客さまのニーズに沿ったアフターフォローの充実【金融庁原則6(注)】

当行は、お客さまと長期にわたる信頼関係を構築するため、お客さまに対して金融商品・サービスを提供した以降についても、ライフストーリー等に応じたコンサルティングを通じて、お客さまのニーズに沿ったアフターフォローを行ってまいります。

お客さまのニーズに沿ったアフターフォロー

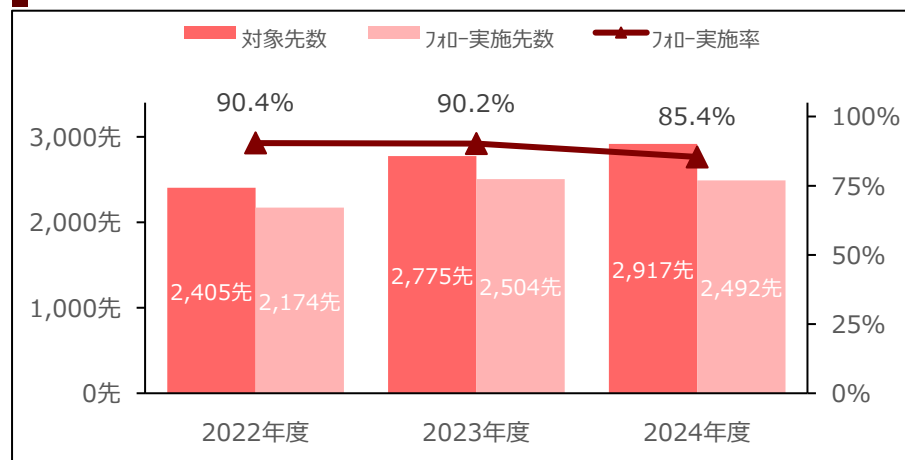
- 投資信託を保有されているお客さまには、定期的に「取引残高報告書」「ご投資状況のお知らせ」や「運用報告書」を郵送（または電子交付）するほか、お客さまの状況に応じて、個別レポート（保管残高、運用損益等）を用いて、運用状況や市場動向等の情報提供に努めております。
- 基準価額の急落時（5%以上）や分配金が減少した場合には、対象のお客さまに市況レポート等を用いて丁寧な説明と情報提供に努めております。

〔2024年度実績〕 臨時フォロー 3,129名（フォロー対象15ファンドのいずれかを保有されているお客さま）

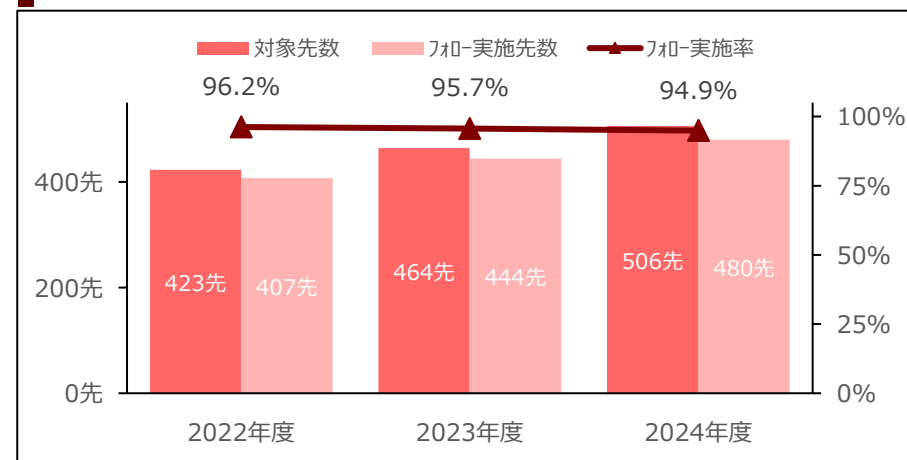
高齢のお客さま（75歳以上）へのアフターフォロー

投資信託・外貨建生命保険を保有されている高齢のお客さまには、定期的にアフターフォローを行っております。高齢者施設入所等によりフォローが困難なお客さまが一定数いらっしゃいますが、可能な限り情報提供やニーズ把握が継続できるよう、日ごろからお客さまとのリレーション維持に努めております。

投資信託



外貨保険



当行は、お客さまの利益を不当に害することのないよう、利益相反管理方針を策定しております。当該方針に基づき、お客さまに対する金融商品・サービスの提供にあたり利益相反の可能性がある場合には、その内容等を説明したうえで、お客さまに金融商品・サービスの提供を受けるか否かを判断していただいたり、お客さまに対する金融商品・サービスの提供を控えたりする等の対応を行ってまいります。

- 当行グループは、お客さまとの取引等において、法令等および顧客保護等管理方針に従い、お客さまの利益を不当に害することのないよう適正に管理業務遂行いたします。

利益相反管理の対象と取引の特定方法

1. お客さまの不利益のもと、当行または当行グループ会社もしくは他のお客さまが利益を得ている状況が存在すること
2. 1の状況がお客さまとの間の契約上または信義則上の位置に基づく義務に反すること

取引の類型

	お客さまと当行	お客さまと当行の他のお客さま
利害対立型	お客さまと当行または当行グループ会社の利害が対立する取引	お客さまと当行または当行グループ会社の他のお客さまとの利害が対立する取引
競合取引型	お客さまと当行または当行のグループ会社が同一の対象に対して競合する取引	お客さまと当行または当行のグループ会社の他のお客さまが競合する取引
情報利用型	当行がお客さまとの関係を通じて入手した情報を利用して、当行または当行グループ会社が利益を得る取引	当行がお客さまとの関係を通じて入手した情報を利用して、当行または当行グループ会社の他のお客さまが利益を得る取引

利益相反管理体制

- 以下の方法を適宜選択し組み合わせを講じることにより、利益相反の管理を行っています
1. 対象取引を行う部門と当該お客さまとの取引を行う部門を分離する方法
 2. 対象取引または当該お客さまとの取引の条件または方法を変更する方法
 3. 対象取引または当該お客さまとの取引を中止する方法
 4. 対象取引に伴い、当該お客さまへの利益が不当に害されるおそれがあることについて、当該お客さまに適切に開示する方法（ただし、当行または当行グループ会社が負う守秘義務に違反しない場合に限る）

管理対象グループ会社

- きたぎんユーシー株式会社

当行は、すべての職員が本方針に沿って誠実に行動し、お客さまの利益を不当に害することのないよう、本方針に沿った業績評価体系を整備するとともに、浸透に向けた研修プログラムを実施してまいります。

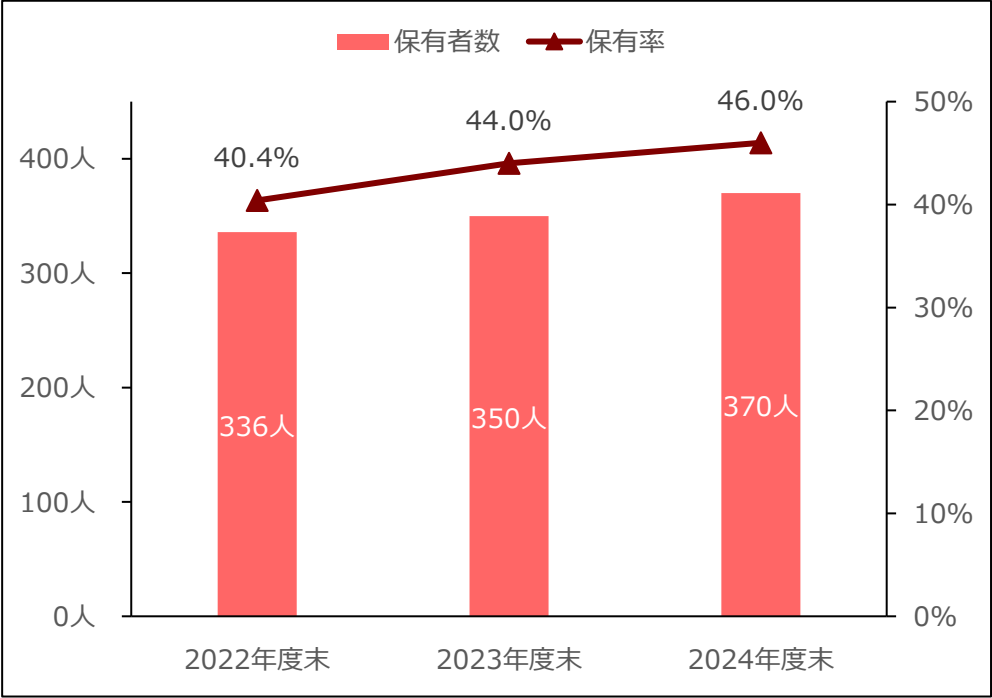
- 職員の高度な専門性と職業倫理を養うため、研修プログラムの充実を図り、計画的な人材育成に取り組んでおります。
- お客さまのニーズに沿った最善の利益の実現に向け、業績評価においては、お客さまのライフプランニングを通じたニーズに沿った提案数などの活動プロセス数を採用しております。

職員向け研修・勉強会開催状況

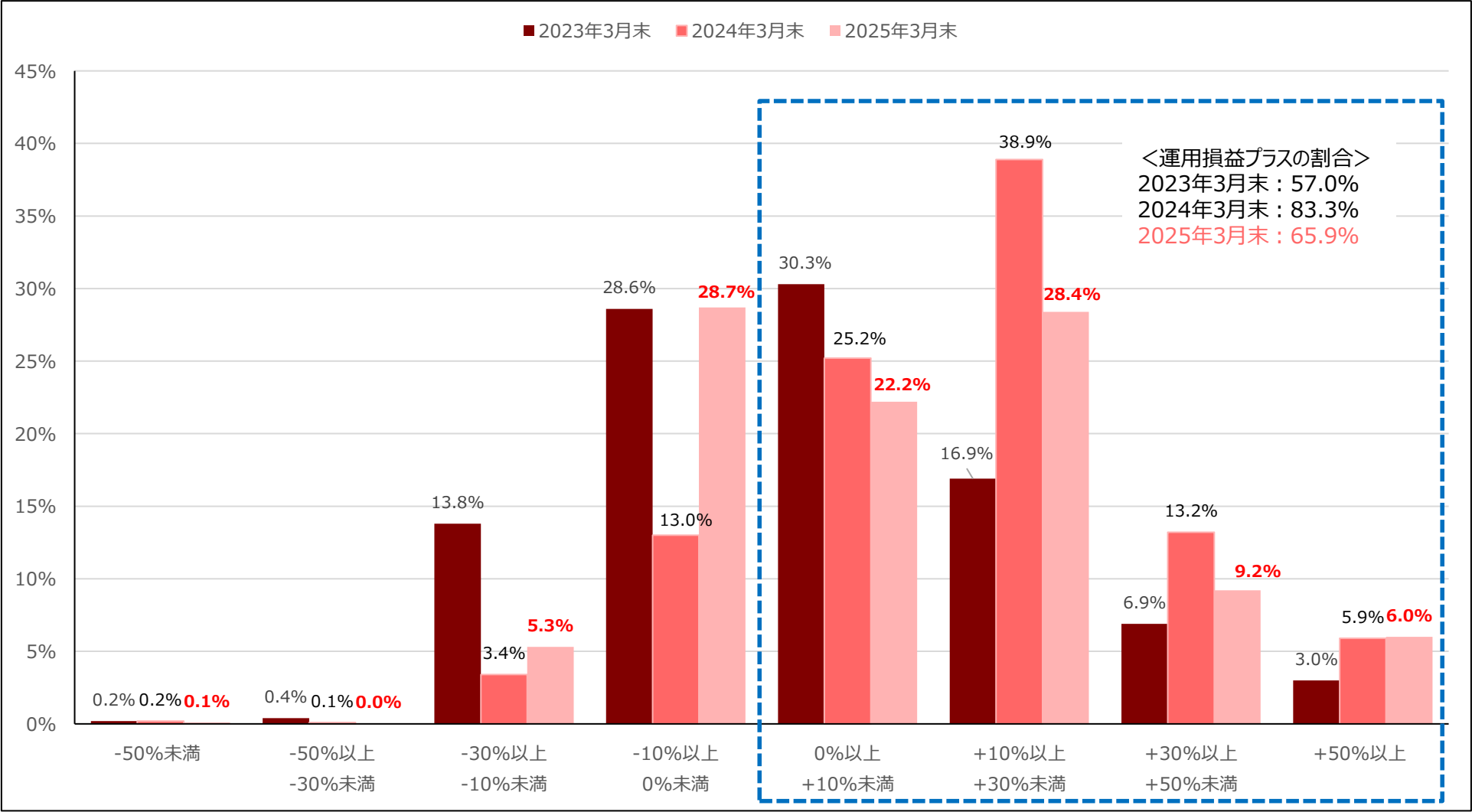
内容	2022年度		2023年度		2024年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
本部集合研修	28回	363人	34回	449人	22回	397人
投資環境勉強会	68回	－(*)	82回	－(*)	101回	－(*)
合計	96回	363人	116回	449人	123回	397人

(*) 投資環境勉強会はリモート開催し、支店毎に参加しているため参加人数は集計しておりません。

FP(1級・2級)資格保有者・保有率状況

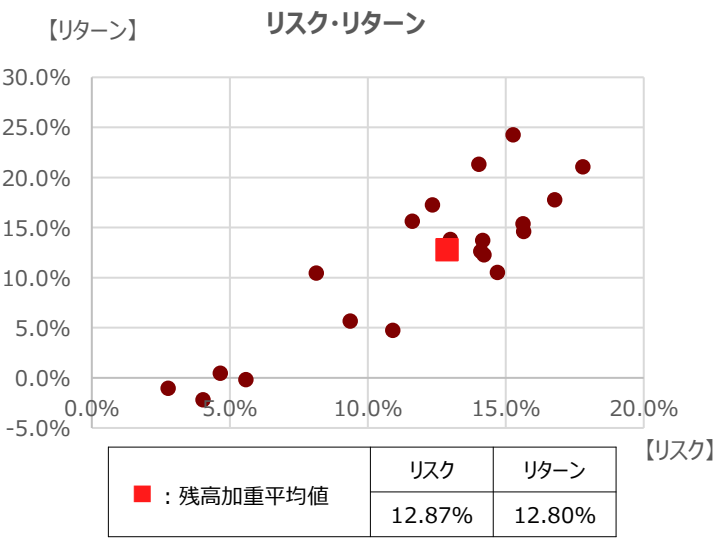
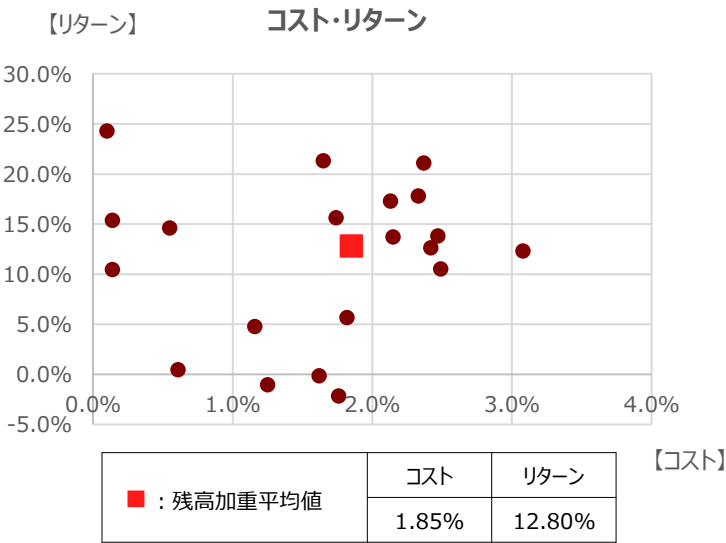


投資信託の運用損益別顧客比率



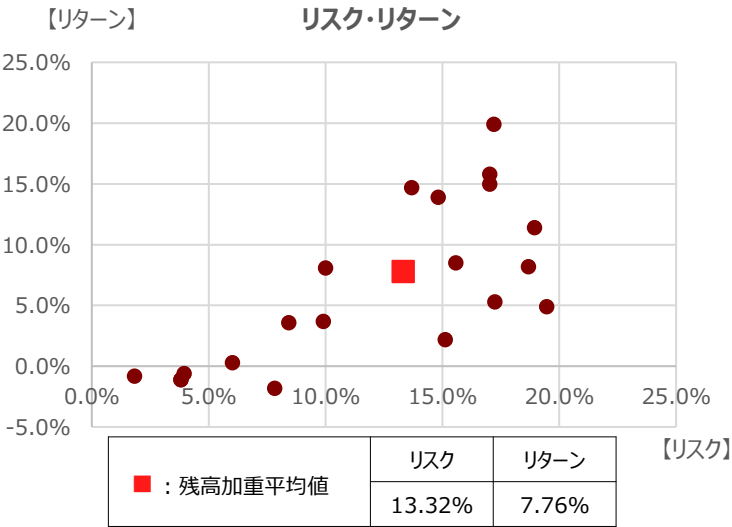
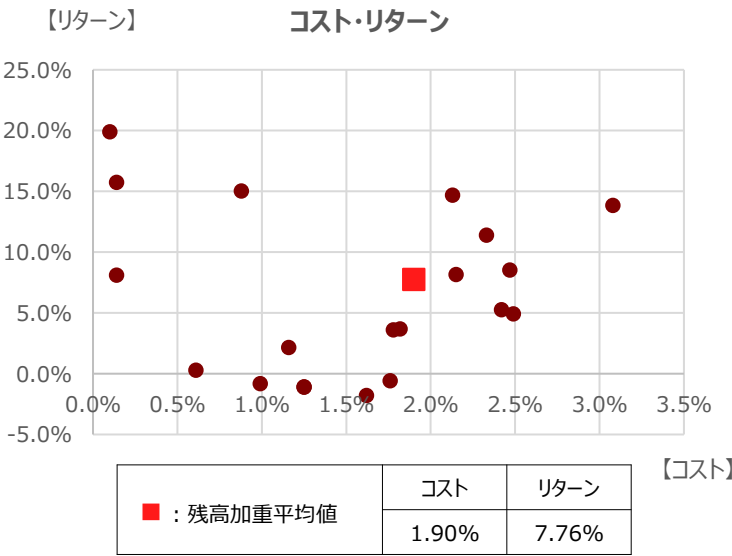
投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

順位	ファンド名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
1	ダイワ・US－REIT・オープンBコース（毎月決算型）	2.33	16.77	17.80
2	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08	14.21	12.31
3	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド	2.47	12.99	13.82
4	日経225ノーロードオープン	0.55	15.65	14.63
5	投資のソムリエ	1.76	4.03	-2.16
6	【積立】たわらノーロード 先進国株式	0.10	15.27	24.29
7	日興五大陸株式ファンド	1.65	14.03	21.34
8	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	1.25	2.77	-1.02
9	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	2.42	14.10	12.65
10	MHAM豪ドル債券ファンド（毎月決算型）	1.82	9.36	5.67
11	【積立】たわらノーロード バランス（8資産均等型）	0.14	8.14	10.48
12	のむらっぴ・ファンド（積極型）	1.74	11.61	15.64
13	【積立】たわらノーロード 日経225	0.14	15.63	15.39
14	MHAM J－REITインデックスファンド（毎月決算型）	1.16	10.91	4.77
15	グローバルSDGs株式ファンド	2.13	12.35	17.29
16	野村未来トレンド発見ファンドBコース	2.37	17.79	21.09
17	アジア好利回りリート・ファンド	2.49	14.70	10.53
18	トレンド・アロケーション・オープン	1.62	5.58	-0.15
19	グローバルREITオープン	2.15	14.16	13.73
20	ゴールドマン・サックス社債／国際分散投資戦略ファンド 2018-12	0.61	4.66	0.48



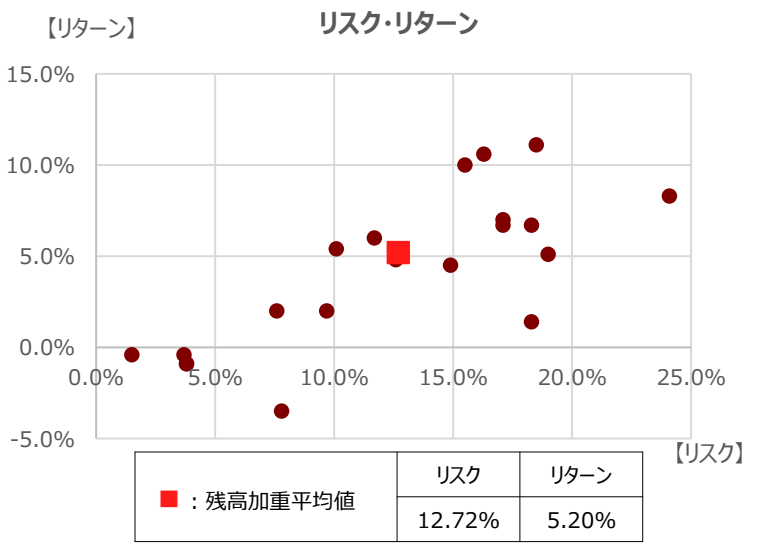
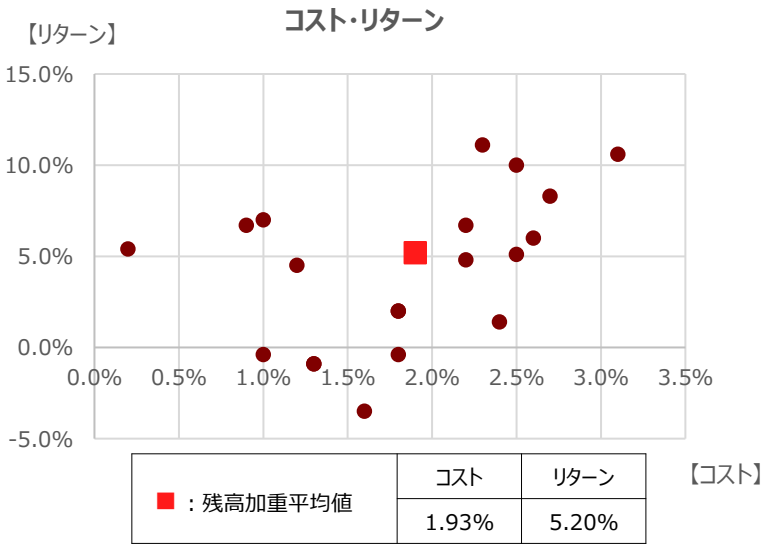
投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

順位	ファンド名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
1	ダイワ・US－REIT・オープンBCコース（毎月決算型）	2.33	18.94	11.41
2	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド	2.47	15.57	8.52
3	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08	14.82	13.85
4	投資のソムリエ	1.76	3.95	-0.58
5	日経225ノーロードオープン	0.88	17.03	15.03
6	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	1.25	3.81	-1.10
7	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	2.42	17.24	5.26
8	MHAM豪ドル債券ファンド（毎月決算型）	1.82	9.91	3.68
9	MHAM J－REITインデックスファンド（毎月決算型）	1.16	15.12	2.16
10	【積立】たわらノーロード 先進国株式	0.10	17.20	19.90
11	トレンド・アロケーション・オープン	1.62	7.82	-1.80
12	アジア好利回りリート・ファンド	2.49	19.46	4.92
13	グローバルSDGs株式ファンド	2.13	13.69	14.70
14	ゴールドマン・サックス社債／国際分散投資戦略ファンド 2018-12	0.61	6.02	0.30
15	グローバルREITオープン	2.15	18.68	8.17
16	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25	3.81	-1.09
17	【積立】たわらノーロード バランス（8資産均等型）	0.14	10.00	8.12
18	【積立】たわらノーロード 日経225	0.14	17.03	15.75
19	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.78	8.43	3.62
20	ダイワ日本国債ファンド	0.99	1.83	-0.82

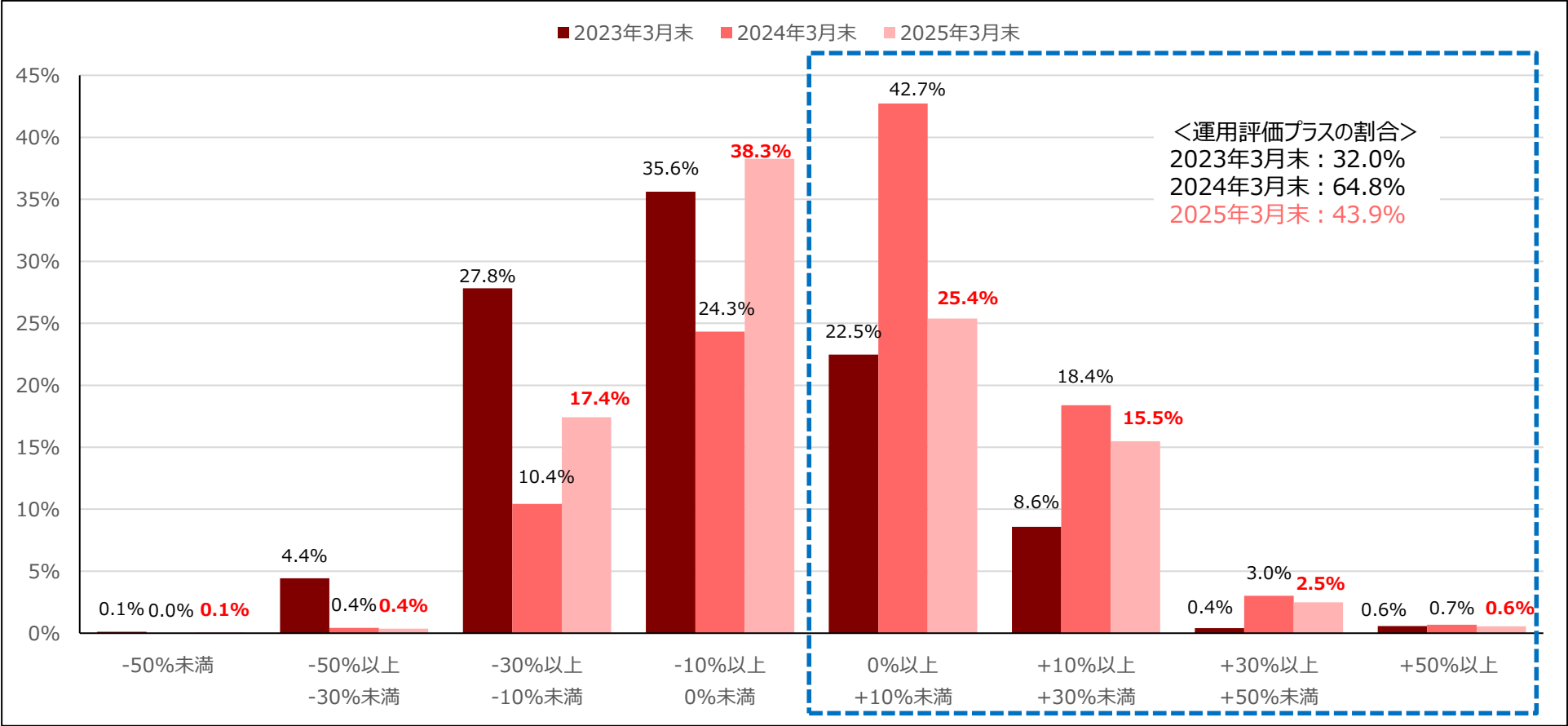


投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2023年3月末）

順位	ファンド名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
1	ダイワ・US－REIT・オープンBコース（毎月決算型）	2.33	18.52	11.13
2	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド	2.47	15.54	9.97
3	投資のソムリエ	1.76	3.72	-0.44
4	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	1.25	3.76	-0.90
5	日経225ノーロードオープン	0.88	17.06	6.68
6	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08	16.30	10.59
7	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	2.42	18.29	1.42
8	MHAM豪ドル債券ファンド（毎月）	1.82	9.74	1.95
9	MHAMJ－REITインデックスファンド（毎月決算型）	1.16	14.85	4.48
10	トレンド・アロケーション・オープン	1.62	7.76	-3.52
11	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25	3.76	-0.89
12	アジア好利回りリート・ファンド	2.49	19.04	5.06
13	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.78	7.58	1.99
14	ダイワ日本国債ファンド	0.99	1.47	-0.40
15	グローバルREITオープン	2.15	18.31	6.74
16	グローバル3資産ファンド	2.20	12.61	4.75
17	ハリス世界株ファンド（毎月決算型）	2.70	24.07	8.31
18	インデックスファンド225	1.01	17.06	7.03
19	GW 7つの卵	2.64	11.67	5.98
20	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	0.15	10.14	5.41



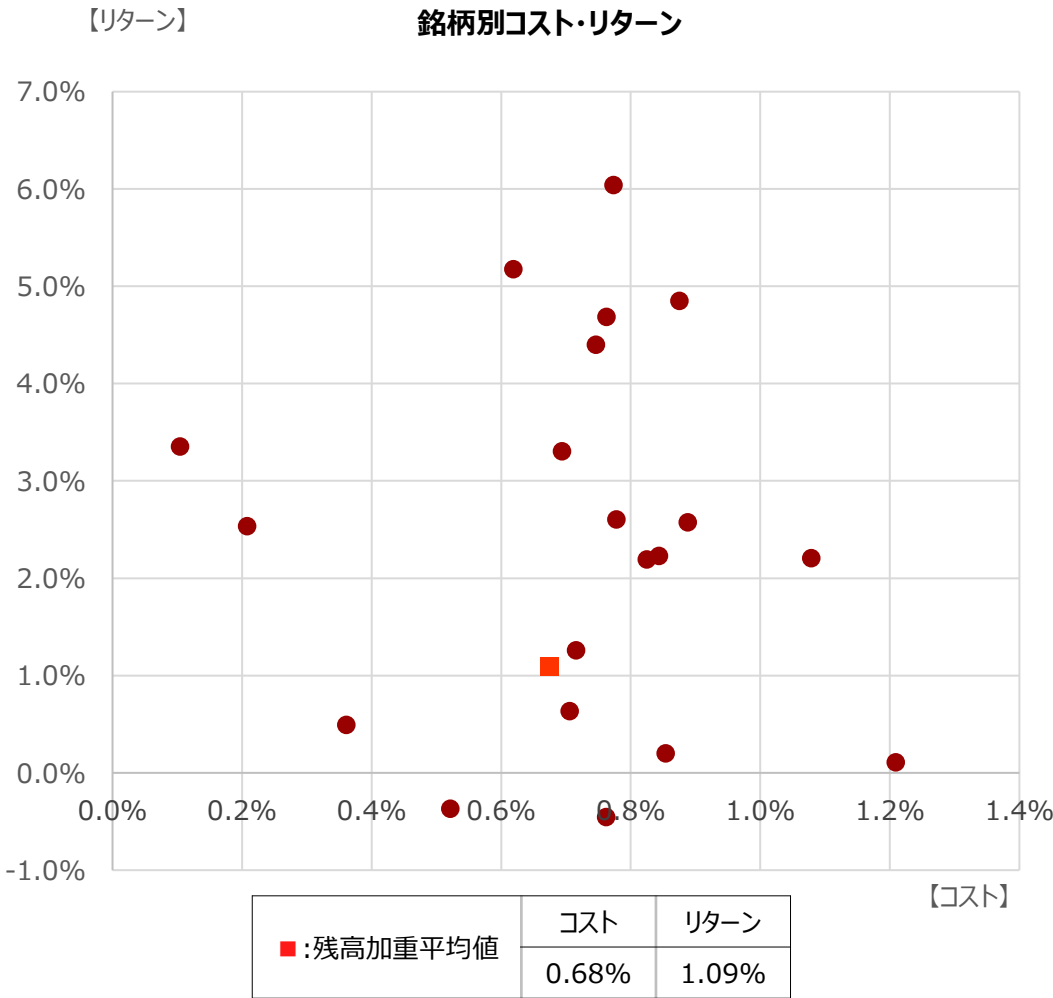
外貨建保険の運用評価別顧客比率



- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

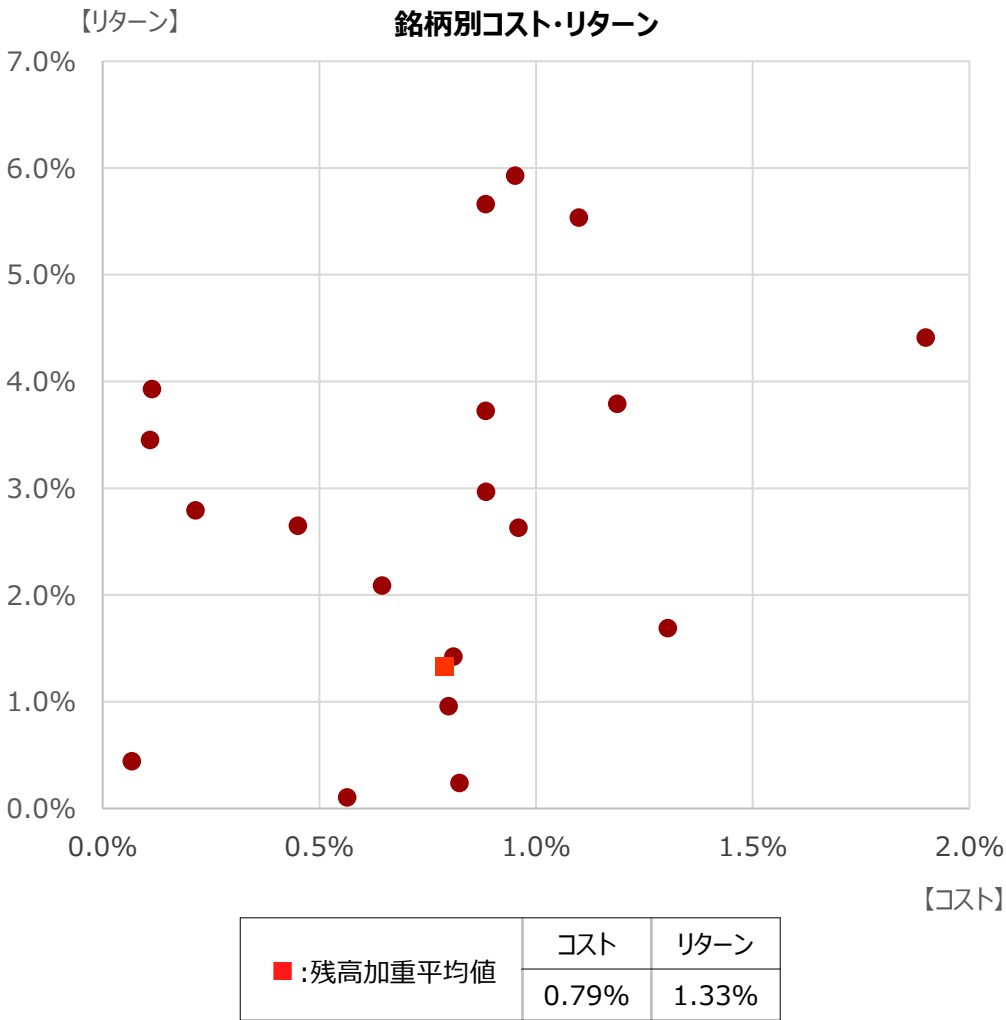
外貨建保険預り残高上位銘柄の銘柄別コスト・リターン（2025年3月末）

順位	ファンド名	コスト(%)	リターン(%)
1	生涯プレミアムワールド 4	0.76%	-0.45%
2	やさしさ、つなぐ	0.36%	0.49%
3	しあわせ、ずっと	0.72%	1.26%
4	プレミアプレゼント	0.83%	2.19%
5	プレミアカレンシー・プラス 2	0.78%	2.60%
6	生涯プレミアムワールド 3	0.71%	0.63%
7	ふるはーと J ロードグローバル	0.76%	4.69%
8	未来につなげる終身保険	1.08%	2.21%
9	生涯プレミアムワールド 5	0.89%	2.57%
10	外貨建・エブリバディプラス	0.75%	4.40%
11	豪ドル建・一時払養老保険	0.69%	3.30%
12	プレミアカレンシー 3	0.85%	0.20%
13	たのしみグローバル	0.88%	4.85%
14	アドバンテージ・セレクト P G	0.52%	-0.37%
15	シリウスプラス	0.10%	3.35%
16	外貨建・一時払養老保険	0.77%	6.04%
17	えらべる外貨建一時払終身	0.62%	5.18%
18	シリウスハーモニー	0.21%	2.53%
19	しあわせ、ずっと N Z	0.84%	2.23%
20	あしたの、よろこび 2	1.21%	0.11%



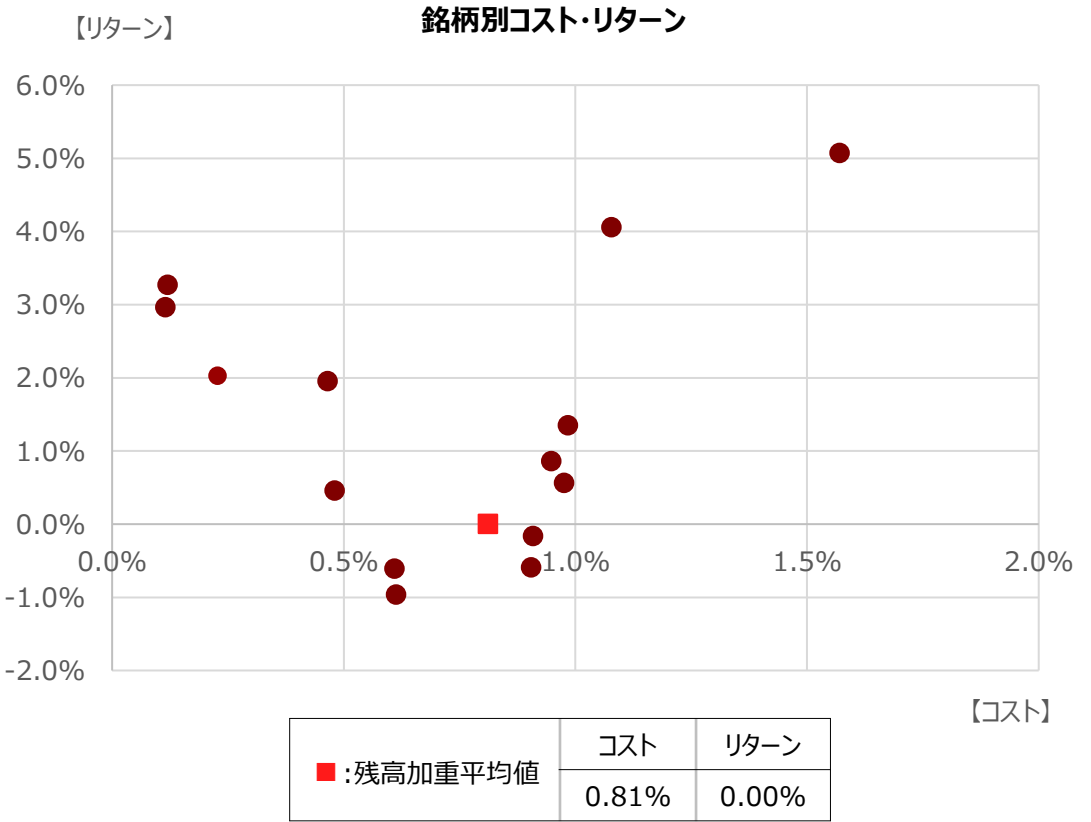
外貨建保険預り残高上位銘柄の銘柄別コスト・リターン（2024年3月末）

順位	ファンド名	コスト(%)	リターン(%)
1	生涯プレミアムワールド 4	0.82	0.24
2	やさしさ、つなぐ	0.56	0.10
3	しあわせ、ずっと	0.81	1.42
4	プレミアプレゼント	0.88	3.73
5	プレミアカレンシー・プラス 2	0.88	2.97
6	生涯プレミアムワールド 3	0.80	0.96
7	ふるはーと J ロードグローバル	0.95	5.93
8	未来につなげる終身保険	1.19	3.79
9	外貨建エブリバディプラス	1.10	5.53
10	豪ドル建・一時払養老保険	1.90	4.41
11	アドバンテージ・セレクト P G	0.07	0.44
12	シリウスプラス	0.11	3.45
13	たのしみグローバル	0.88	5.66
14	シリウスハーモニー	0.21	2.79
15	しあわせ、ずっと N Z	0.96	2.63
16	ファイブテン・ワールド	0.64	2.09
17	アドバンテージ・セレクト	0.45	2.65
18	あしたの、よろこび	1.30	1.69
19	シリウスデュアル	0.11	3.93
20	以下対象銘柄なし		



外貨建保険預り残高上位銘柄の銘柄別コスト・リターン（2023年3月末）

順位	ファンド名	コスト(%)	リターン(%)
1	生涯プレミアムワールド4	0.90	-0.59
2	しあわせ、ずっと	0.95	0.86
3	やさしさ、つなぐ	0.61	-0.96
4	未来につなげる終身保険	0.48	0.46
5	生涯プレミアムワールド3	0.91	-0.16
6	アドバンテージ・セレクトPG	0.61	-0.61
7	しあわせ、ずっとNZ	0.98	0.56
8	プレミアカレンシー・プラス2	0.98	1.35
9	シリウスプラス	0.12	2.96
10	ふるはーとJロードグローバル	1.08	4.06
11	シリウスハーモニー	0.23	2.03
12	外貨建エブリバディプラス米ドル	1.57	5.07
13	アドバンテージ・セレクト	0.47	1.95
14	シリウスデュアル	0.12	3.27
15	以下対象銘柄なし		
16			
17			
18			
19			
20			



- 年度末時点の円換算残高（解約返戻金額+既支払金受取累計額）の上位銘柄を表示しております。
- コストおよびリターンは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

金融商品組成会社との連携

- 当行は、金融商品の販売会社として「販売状況」や「お客さまの声」を商品組成会社と適切に共有し、多くのお客さまに満足いただける商品ラインナップの実現を販売会社・商品組成会社全体で目指してまいります。
- 具体的な取り組みに向け、各種システム・体制整備を進めております。

金融商品組成会社の取組状況の把握

- 当行は、金融商品の販売会社として、投資信託評価会社によるラインナップ分析を実施するほか、金融商品組成会社（投資信託委託会社や保険会社）においてどのような取り組みが行われているか情報収集に努め、金融商品組成会社および商品の選定に活用してまいります。
- 金融商品組成会社の情報収集にあたっては、各社が公表しているお客さま本位の業務運営に関する取組状況等の確認に加えて、第三者機関等の各種調査報告等を確認するなど、幅広い視点で行い適正な判断ができるよう努めてまいります。

